

令和4年度第2回諫早市認知症対策推進会議要旨

1. 日時：令和5年1月31日（火） 19：00～20：00

2. 場所：諫早市役所 本館5階 大会議室

3. 協議内容

（1）諫早市地域包括ケアシステムと認知症対策推進事業について

質問、ご意見なし

（2）認知症初期集中支援チーム活動実績報告について

委員：初期集中支援チームでの大体の支援期間はどのくらいになるのか。期間内でケースの決着がつくのか。

事務局：対応事例のほとんどが現在も進行中。経年の平均でみるとおおむね6か月で家族の支援や専門医、ケアマネジャーとのつなぎを行い、対応終了している。

委員：家庭訪問をしていると思うが、本人から拒否された事例もあるか。

事務局：本人がチーム員が訪問したことを不審に思う様子は見られる。初回訪問ではいろいろな人を回っているという説明し、本人との関係づくりから行うようにしている。

委員：徘徊の事例について地域でのネットワークについて具体的に教えてほしい。

事務局：家族に対し、認知症があることを隠すよりも、周りの人に知ってもらうことが必要である。家族が、包括支援センターや近所の人へ外を歩いているときには気にかけてほしいと話をしたことで地域のネットワークにつながった。

（3）認知症の普及啓発の取り組みについて

委員：認知症の講演会となると、認知症について学びたいと思っている方や実際に介護をされている当事者の方が来られていると思うので、その場所で相談コーナーを作れるのはとても良いと思った。

委員：図書館にも認知症の本を設置していたが、反響はあったか。

事務局：認知症の本の貸出が増え、興味がある人が多いとの報告を受けている。

委員：どんな所でたくさんオレンジガイドが減っているか知りたい。

事務局：スーパーや郵便局、薬局からは補充の連絡をもらっている。

（4）認知症多職種協働研修について

委員：令和4年度が多職種協働研修はオンデマンドが良いと思うが、今後は集合研修と考えていいのか。

事務局：次年度はコロナの状況を見ながら、集合型でできるよう検討していきたい。

委員：現在、アルツハイマー型認知症だけではなく、前頭側頭型認知症が増えている。そこも研修で伝えてほしい。

委員：オンデマンド研修を受けた後に、参加者から質問が出来るフォームを作してほしい。